

令和3年（2021年）7月1日からの大雨特定災害対策本部（第2回）  
議事録

日時：令和3年7月5日10：33～10：50

場所：中央合同庁舎8号館3階 災害対策本部会議室

出席者：【本部長】 防災担当大臣  
【副本部長】 防災担当副大臣  
防災担当大臣政務官  
内閣官房 危機管理監  
【本部員】 内閣府 政策統括官（防災担当）  
内閣府 大臣官房審議官（防災担当）  
内閣府 男女共同参画局長  
警察庁 警備局長  
総務省 大臣官房長（WEB参加）  
総務省 代理：総合通信基盤局電気通信事業部長  
総務省 自治行政局公務員部長（WEB参加）  
消防庁 次長  
財務省 大臣官房審議官（危機管理担当）  
文部科学省 大臣官房文教施設企画・防災部長  
厚生労働省 大臣官房危機管理・医務技術総括審議官  
（WEB参加）  
農林水産省 大臣官房危機管理・政策立案総括審議官  
経済産業省 大臣官房技術総括・保安審議官  
国土交通省 代理：水管理・国土保全局砂防部長  
国土交通省 大臣官房危機管理・運輸安全政策審議官  
国土地理院 代理：総括測量・防災官  
気象庁 気象防災監  
海上保安庁 海上保安監  
環境省 環境再生・資源循環局長  
防衛省 統合幕僚監部総括官

1. 開会（内閣府政策統括官（防災担当）により議事次第に沿って議事進行）

2. 被害状況等の報告について

〈内閣府（政策統括官（防災担当））〉

人的被害は死者2名、調査中死者1名となっている。113名の安否確認がわからないため、警察、消防、自衛隊、海上保安庁等を中心に勢力を挙げて安否確認等を進めている。

現在静岡県熱海市で548名の方が避難をしている。これらの方々は避難所に分散避難していたが、現在は2つのホテルに集約して避難をしている。ライフラインの状況として、水道は、約1,100戸で断水しており、給水活動を行っている。その他、電力、通信、ガス等は復旧等を行っている。

#### 〈気象庁（気象防災監）〉

天気の見通しのポイントは日本付近に梅雨前線が停滞するという状況が来週まで続く予想である。6日にかけては西日本から東日本の日本海側を中心に大雨となるところがある見込みである。

熱海市には引き続き土砂災害警戒情報を発表している。北陸地方でも、今朝の雨等を含めて警報が出ている。

静岡県伊豆地方の気象の見通しは、被災地を含めて静岡県では5日は雨で昼前から曇りところにより雷を伴う予報。昨日までと異なり気温が高くなり、風がやや強く吹く見込みである。6日に入っても曇りでところにより雷を伴う予報であり、予想される降水量は明日の朝まで40ミリ、その後の24時間で50ミリの予想である。引き続き土砂災害に警戒が必要な状況である。

一般的に前線が停滞する状況であることから大雨の警報級になる可能性がある。7日にかけても天候が良くなる方向ではないことから引き続き注意が必要である。気象庁として熱海市に職員を2名駐在をさせて現地で気象の詳細な解説を行うなど支援する体制をとっている。引き続き適時的確な情報発信に努めていく。

#### 〈警察庁（警備局長）〉

本日も静岡県警察の部隊と広域緊急援助隊合わせて350名体制で情報収集、救助活動、安否不明者の捜索等にあたっている。捜索場所は東海道新幹線、東海道本線を横断する被災現場及び逢初川河口周辺で役割分担をしている。昨日は建物に取り残された母子等を含む12名を救助し、合計20名を救助した。更に土砂災害の被害を受けたとする地域の住民について引き続き関係機関と連携し、安否確認作業を継続していく。なお、天候が改善したことから先ほどヘリによる上空からの情報収集を開始するとともに引き続きドローンを活用した情報収集等を行っていく。

#### 〈消防庁（次長）〉

警察、消防、自衛隊で手分けして捜索、救助活動を行っている。Aサイト（新幹線高架から山側の部分）に大量に土砂が堆積しており、Bサイト（高架から海側部分）、Cサイト（山部分）と合わせて本日重点的に捜索及び救助活動していく予定と聞いている。

地元熱海市消防本部、県内応援、緊急消防援助隊合わせて約 600 名規模で捜索、救助活動にあたっている。

#### 〈海上保安庁（海上保安監）〉

巡視船艇 7 隻を投入し、海上の捜索活動を実施中である。天候を踏まえて航空機を活用しながら捜索を継続していく。

#### 〈総務省（総合通信基盤局電気通信事業部長）〉

固定電話に被害は出ていない。携帯電話は KDDI が静岡県熱海市の一部地域において支障が出ていたが、KDDI の車載型基地局の設置等により、支障は解消されている。また事業者からは自治体へのリエゾン派遣のほか、避難所への携帯電話の貸出しなどを行っている。引き続き状況等を把握し、各事業者と連携して対応を行う。

#### 〈厚生労働省（大臣官房危機管理・医務技術総括審議官）〉

1,100 戸が断水中であり、応急給水活動を実施中である。DMAT は静岡県内で 7 隊（熱海市で 3 隊）が活動中である。

#### 〈農林水産省（大臣官房危機管理・政策立案総括審議官）〉

農地や農道への土砂流入、農業用水路の石積崩れや土砂埋塞などが報告されているが、人的被害につながる、農業用ダムやため池の被害は報告されていない。地方農政局等や地方自治体と連絡を密にし、被害を把握し速やかに対応していく。

#### 〈国土交通省（大臣官房危機管理・運輸安全政策審議官）〉

運輸関連の対応として、鉄道は最大 13 事業者 26 路線で運転を見合わせていたが、現在は 1 事業者 1 路線が運転見合わせ中である。大規模な土石流が発生した付近を運行している東海道新幹線及び在来線（東海道線）は、現在も一部区間で徐行運転を行っているが、東海道新幹線は昨日始発から、東海道線は昨日 12 時半から運転を再開している。捜索関連に関係するところとして、国土交通省航空局より飛行自粛要請の範囲をノータムとして発出をしている。港湾として、熱海港の伊豆山地区に土砂が流入しているため、現地調査を行っている。

〈国土交通省（水管理・国土保全局砂防部長）〉

砂防関係は土砂災害の専門家が昨日現地を確認した。特に崩壊斜面も調査した。今後、更なる崩落が危惧されるため、監視が重要である。本日から現場状況を確認できるカメラを3か所に設置予定。

〈環境省（環境再生・資源循環局長）〉

関東地方環境事務所から3名、本省から1名を現場に派遣し、災害廃棄物の発生状況の確認を開始している。

被害状況は廃棄物処理施設や公園関係に被害はなし。市民の方々からのゴミ出しに備えた仮置き場の設置についても確認を実施中である。

〈国土地理院（総括測量・防災官）〉

中部地方整備局及び静岡県が7月3日～4日にかけて UAV で撮影した画像から、土砂が見えている部分を判読している。土砂が堆積している部分を拡大した資料を静岡県熱海市に提供し、人命救助等に役立てていただく。

〈防衛省（統合幕僚監部総括官）〉

自衛隊は、本日総計840名の体制で人命救助、情報収集の活動を行っている。引き続き関係機関や自治体と連携を密にして対応にあたる。

〈内閣府（防災担当副大臣）〉

一昨日も申し上げたが、国交省の飛行自粛はマスコミのヘリなどの進入を統制するものであるが、一方でドローンについても、くれぐれもヘリとドローンが近づくりスクを気にして対応するよう念頭に置いてほしい。

（報道関係者入室）

### 3. 棚橋特定災害対策本部長発言

〈棚橋本部長〉

今回の大雨により、東日本の太平洋側を中心に人的被害や住家被害が生じている。本日午前6時時点で、複数名の方が亡くなるなどの人的被害や、134棟の住家被害が生じている。まだ把握されていない被害もあると考えられる。亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災されたすべての方々に改めて心よりお見舞い申し上げます。

熱海市の土石流に関しては、約130棟の家屋が被害を受けたとの情報があり、

安否不明者の確認が進められる中、本日も、消防・警察・自衛隊・海上保安庁による捜索・救助活動が進められている。関係省庁におかれましては、引き続き、人命の救助を第一に、緊密に連携し、行方不明者等の一刻も早い救命・救助に全力で取り組んでほしい。

また、これまでの記録的な大雨により、土砂災害の危険度が高い状態になっているところがあることから、引き続き、警戒体制に万全を期する必要がある。さらに、避難生活の長期化も見込まれる中、新型コロナウイルス感染症の拡大により、平時以上に、避難所等におけるきめ細かい対策が求められる。

このような状況を踏まえ、政府としての体制強化についても、総理とご相談したいと考えている。関係省庁におかれましては、政府一体となった被害状況の把握や応急対策を一層加速させるため、引き続きのご協力をお願いする。

(報道関係者退室)

#### 4. 閉会